

## 女性部会 竹市部会長を再任 働きやすい職場づくりへ

【愛知】愛知県トラック協会の女性部会は6月21日、総会を開き、任期満了に伴う役員改選で竹市五倫



「ドライバー確保と従業員の教育が重要」と竹市部会長

部会長（稲沢運輸）を再任した。中川育恵幹事（藤栄運輸）が副部会長に就任し、大島五月副部会長（流通システム中部）は監事に就いた。宮司順子副部会長（伍洋運輸）は留任した。

竹市氏は、新型コロナウイルスが感染拡大した3年間に、ロシアによるウクライナ侵攻やそれに伴う原油価格の高騰で経済が低迷したことを述べ、「やっと経済が戻りつつあるが、我々の業界は大変厳しい環境に置かれている」と指摘。

その上で、「改正改善基準告示が2024年4月に施行されることで標準的運

賃を収受し労働環境の改善、働きやすい職場環境づくりを行っていかねばならない。若い方がこの業界を離れ、運転免許証も取得しない状況になっている今、ドライバー確保と従業員の教育が最も重要だ」と強調した。

女性部会について、10年に協議会として設立され、準備委員会を含めて14年間活動してきたことを振り返り、「9人で準備を進め、現在34人。皆さんの協力がなければ今日は無かった。全ト協の女性部会（原玲子部会長）が設立されてから6年で、千人を超える女性経営者、管理者がいるのはとても心強い。今後、女性の力を発揮して業界の地位向上に努めたい」と抱負を述べた。

事業計画では、部会の更なる発展を目指し、教育・研修事業に注力しながら本

部や全ト協女性部会の事業活動に積極的に参画する。また、同日に研修会を実施。愛知労働局労働基準部監督課の下田隆貴課長が、「時間外労働の上限規制等について」をテーマに講演した。

（奥出和彦）